

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	住宅火災の消火活動中における、頭部への瓦の落下による負傷。
3. 体験した事例の中心的要素	屋内進入による消火活動と検索活動。
4. 体験した事例の原因・理由	1. 不慮の事故 2. 確認不足 3. 照明資機材の不足

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 18 年 1 月 29 日	午前 3 時頃
2. 発生した当時の天候	わからない	
3. 発生した活動現場	屋内：一般住宅 2 階	
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、	
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動中期、 [木造建物]	
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	放水活動、	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1 年に数度]、任務 []
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者 A	火災出動	
経過2	当事者 A	屋内進入により消火活動開始	
経過3	当事者 A	建物2階へ侵入し、消火活動をおこなう	
経過4	当事者 A	落下物により危険と判断、後退中に負傷	
経過5	当事者 A	軽傷のため消火活動を続行	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

周囲の視界が確保できなかった。足元の安全が確保できていなかった。後方からの監視の目が行き届いていなかった。たまたま、負傷事故になった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	はい

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

はい：落下物等の危険を感じて後退中の不慮の事故であった。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○**注意力欠如、焦り等の対策について**

事案発生日時的に寒さによる隊員の体力消耗や注意力欠如が懸念される事から隊員交代を念頭に活動する。

○**装備・資機材の対策について**

照明資機材の充実。

○**活動環境の対策について**

隊員数の増（複数の目で安全確認）

○**指揮・情報伝達の対策について**

指揮隊の充実